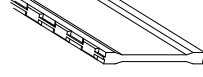
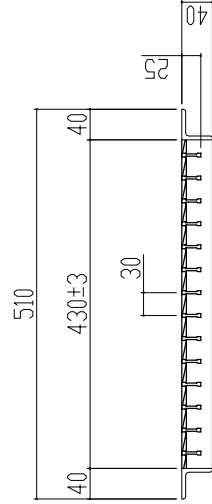
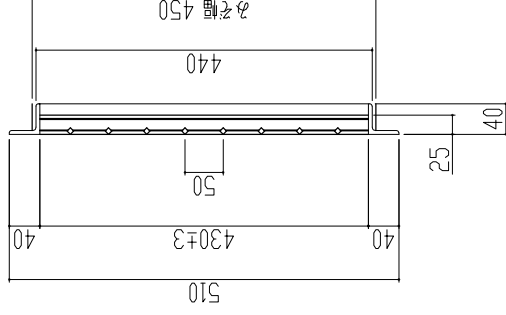
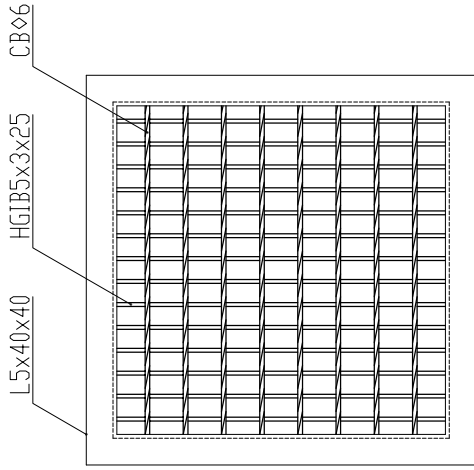


← 車輛進行方向横断 →



重量 10.9 kg

主部材詳細図

表面処理 本体は溶融重鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正番号 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	製図 製図者 製図日	図名 図番	株式会社 マキテック MK駐輪事業部	MGK-L-516
	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	製図 製図者 製図日	四面ソバ付き(ハイテン) グレーチング 溝幅450用 並目 ノンスリップ T-2 LNFL255-430/430	図番	MGK-L-516
	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	製図 製図者 製図日	図名 図番	図番	MGK-L-516
	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	検査 検査項目 検査結果	承認 承認項目 承認結果	製図 製図者 製図日	図名 図番	図番	MGK-L-516

グレーチング強度計算書



1 仕様	品名	LNLF255-430/430
	製品寸法	430x430x25
	主部材	1-5 × 3 × 25
	断面係数	Z= 0.485 cm ³

2 設計条件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 450
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3 強度計算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 30 / 32000$ $\omega = 7.50 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M(N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 7.5 \times 0.5 \times 200 \times (450 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 131,250 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 131,250.0 / 485,000$ $\sigma_b = 270.62 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{\underline{270.62 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$

4 総括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
---------	--